

広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98

TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

http://kosaiji.net/

法座のご案内

御正忌報恩講

一月十五日(土) 午後二時より
十六日(日) 午前九時半・午後二時より

※ お勤め・法話共に、御堂ではなく、
ストーブで暖かくした広間にて行います



今号の法語



自分の方を向いていた



指差す残りの三本は

「オマエが悪い！」と

今号の内容

- ・「正信偈しんぎを読む会」始めます
- ・仏事のQ&A ～真宗のお勤め～
- ・本願寺団体参拝締め切り延長♪
- ・除夜の鐘を撞きましよう！

島根県にある浄土真宗本願寺派の西樂寺さんのホームページで目にした法語です。

「オマエが悪い!」、日々の生活の中でも、また心の中でも、幾度と無く相手を指差してきました。

けど、ちよつと待つてくたさい。その振り向けた指を裏返してよく見てみると……。なんとあろうことか他の指たちは私を差しているじゃありませんか。しかも三本も……。

「オマエが悪い!」、と指差す時には必ずその指は自分自身を指差しています。怒った時などは、相手のことではないで自分自身のこととはどこかに行ってしまっているこの私。皆さんも指差すときには要注意ですよ!



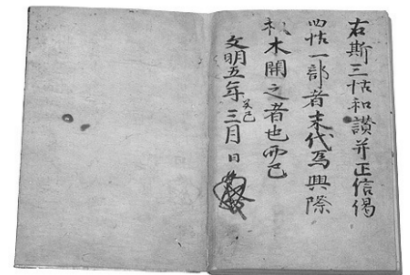
「^{しょう}正^{しん}信^げ偈を読む会」始めます

日程 毎月一回 ※ 第一回：一月二十九日（土）
 時間 午後三時半より
 会場 広濟寺
 内容 正信偈の唱え方（三十分）・正信偈の内容（二十分）
 対象 ご門徒に限らず興味ある方どなたでもお待ちしております
 参加費 もちろん無料です



第八代宗主 蓮如上人

「きーみよー、むーりよー、じゅーによりーらーいー」。
 これは浄土真宗のお勤めで最も有名な、「正信偈」の冒頭部分です。「浄土真宗」といえば「正信偈」、「正信偈」といえば「浄土真宗」といえる位に、浄土真宗のご門徒にとつて「正信偈」は最も親しまれているお勤めです。
 私が月参りで正信偈をお勤めさせて頂く際、お経本すら見ずに正信偈を暗唱されるおじいちゃん・おばあちゃんも珍しくはありません。それだけ正信偈はご門徒の方々に根付いたお勤めだったのです。



1473年 文
明五
年
に
刷
ら
れ
た
三
帖
和
讚

「お経はお坊さんがするものじゃないの？」とか思われるかもしれないが、そんなことは全くありません。そもそも浄土真宗は特別な人だけという閉ざされた教えなのではなく、全ての人が歩むことができる開かれた教えなのですから。

正信偈と和讚とを合わせ、毎朝夕のお勤めに定めた蓮如上人以来、本願寺においてもお晨朝（朝事）・お夕事（夕事）に正信偈が毎日お勤めされています。

ぜひこの正信偈のお勤めをみんな練習してみませんか？自ら学びそれを次代に伝えるというのは大変尊いことだと思えます。



本願寺のお晨朝

この会では、お勤めの仕方はもちろん、正信偈に書いてある内容についても解説していきます。時間は一時間程度を考えていますので、老若男女問わず皆さん気軽にお越し下さい。お待ちしております♪
 （第二回の日程については後日ホームページに掲載します）

仏事の疑問 Q & A

質問 浄土真宗のお勤めでは

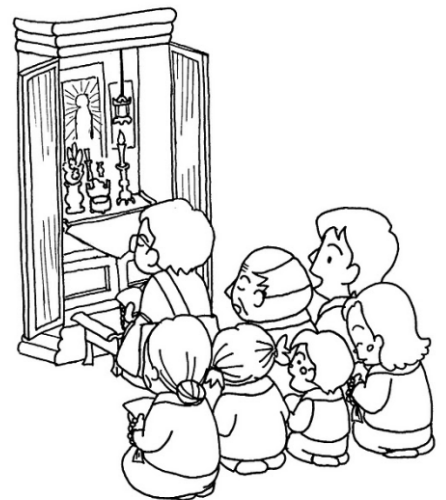
何を読むのですか？

浄土真宗のお勤めで一番親しまれているのは、前頁でも紹介した『正信偈』です。

『正信偈』は、親鸞聖人が著された『教行信証』（正式には『顕浄土真実教行証文類』）に出てくるもので、浄土真宗の本義を端的に述べたものと

言われています。だからこそ第八代蓮如上人はこの『正信偈』を毎日のお勤めに用いることにされたのでしよう。現在でも、本願寺において『正信偈』をお勤めしない日は一日としてありません。

次に『正信偈』以外のお勤



めですが、有名なものは『讚仏偈』と『重誓偈』です。

『讚仏偈』は「こーげんぎーぎー」で始まるお勤め、『重誓偈』は「がーごんちよーせーがーん」で始まるお勤めです。聞いたことありますよね？ど

ちらも『大経』（正式には『仏説無量寿経』）に出てくるものです。これらは『正信偈』よりも短いので色んな所で用いられています。本願寺においては阿弥陀堂のお朝事に『讚仏偈』が用いられています。

他にも『小経』（正式には

『仏説阿弥陀経』）や『十二礼』、『帰三宝偈』など様々なお勤めがありますが、こうしたお勤めとは別に、『御文章』というものもあります。

『御文章』とは蓮如上人が門徒に宛ててお書きになったお手紙のことで『御文』と呼ばれたりもします。真宗の信仰のあり方を平易に説いたこのお手紙は、お勤めや法話の後によく拝読されます。二百通以上にも上るこのお手紙ですが、その中でも『末代無智章』・『聖人一流章』・『白骨章』が有名です。

まだまだ紹介しきれないものもたくさんありますが、総じて浄土真宗のお勤めは僧侶・門徒の別なく全員でお勤めささげていただくものです。是非お経の本を手にとって頂いてご一緒にお勤めさせていただきますでしょう。

本願寺大遠忌

団体参拝募集中♪

☆締め切り延長します☆

（来年も募集受け付けます♪

でもできるだけ早くね）

※詳細はお問い合わせ頂るかHPホームページにアクセス！

除夜の鐘を撞きましよう！

今年も除夜の鐘が近づいて参りました。広濟寺では大晦日の午後十一時四十五分から一時間以上にわたって百人回の鐘を撞いています。出入りは自由ですので気軽にお越し下さい。

「ここであつくと豆知識。みなさん「除夜」って何かご存知ですか？

調べてみると、「除夜」は「除日」の夜のこと。「除日」とは「除刑日」のことで、江戸時代、重要な祝祭日や將軍の忌日など、刑罰の執行を行わないことに定めた日のことだそうです。

「除日」とは死刑など行わない「いのちを大切にする日」でもあつたんですね。冬

の寒い静かな夜に響きわたる除夜の鐘の音は、「いのち」の尊さを確認させていただく音であつたのかもしれない。

是非大晦日の夜はお寺で鐘を撞きながら、「いのち」の響きに耳をすませながらの年越しを！お寺でお待ちしています♪

そうそう、鐘を撞いた後は本堂におられる阿弥陀様に新年の挨拶をするのも忘れずにね！

お知らせ

二〇一〇年

除夜の鐘

十二月三十一日(金)

午後十一時四十五分より

二〇一一年

元旦会

一月一日(土)

午前五時より

御正忌報恩講

一月十五日(土)

午後二時より

一月十六日(日)

午前九時半より

午後二時より

御講師

砺波組 明覚寺

林 要昭 師

正信偈を読む会

一月二十九日(土)

午後三時半より

広濟寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後七時半より

※一月・二月は休会します

編集後記

早いもので今年も気づけば残すところあとわずかとなりました。「今年はあれをするはずだったのに・・・」、「これはなんとかできたなあ」など一年を振り返るに相応しい時節でもあります。

来年から始める『正信偈を読む会』も予定では今年中に始めるつもりでした。ですがなかなか踏ん切りがつかず、結果来年からのスタートとなりました。

月一回の予定ですが、日取りや時間などはみなさん参加しやすいように色々工夫していきたいと思います。初回に参加できない方も希望日時などがあれば是非教えてくださいます。できるだけ反映させていただきます。